



事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	交通対策事業
② 細事業名	モックルコミュニティバス運行事業

総合計画体系	章	04安全安心都市	節	08交通体系
担当部・課	都市建設部 交通政策課		事業開始年度	平成14年度
根拠法令				

③ 事業内容 (手段・手法など)	市役所や市民交流センターなどの公共施設を経由して市の南北を結ぶモックルコミュニティバスの運行経費と運賃収入の差額を交付。			
④ 目的 (何のために)	バス路線ネットワークの充実によるバス利用者の増進及び、主要公共施設へのアクセス性の向上。			
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	市民及び市外在住者(利用者数 平成22年度:56,411人)			
⑥ 現在の実施方法	外部委託 ※運行協定締結は右記詳細のとおり		(詳細:南海バスへ負担金として支出)	
⑦ コスト	平成23年度予算	直接経費(A)の内訳		
	直接経費(A)	19,022 千円	・モックルコミュニティバス運行負担金:16,622千円 ・河内長野市地域公共交通会議負担金:2,400千円【モックルコミュニティバスの上限200円運賃の試行運行実施に伴う経費(市:1,200千円、国:1,200千円)】	
	人件費(B) ※(C)+(E)	826 千円	内訳	担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数) 826 千円 従事職員数(D) 0.1 人 臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E) 千円 従事職員数(F) 人
	総コスト (A)+(B)	19,848 千円	財源内訳(収入)	
⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	<input type="checkbox"/> 廃止を視野に入れいている事業 <input type="checkbox"/> 類似事業や民間で実施しているサービスがある事業 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しを検討している事業 <input type="checkbox"/> 市民協働・指定管理・委託などのアウトソーシングを行う余地の比較的大きな事業 <input type="checkbox"/> 積極的に市民の意見を取り入れたい事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業			

⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	利用者数を増やし、運行経費負担金の削減を図る。
⑩ 事業の現状	平成22年度より上限200円運賃の試行運行を実施しているが、実施に伴う経費負担を賄えるほど利用者数は増加しておらず、平成21年度より経費負担は増えている。(平成22年度利用者数の対前年比105%) ※参考:モックルコミュニティバス以外に、路線バスの岩湧線、日野・滝畑コミュニティバスにも経費負担をしている。
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	上限200円運賃の試行運行結果を踏まえ、適正な運賃を検討する。

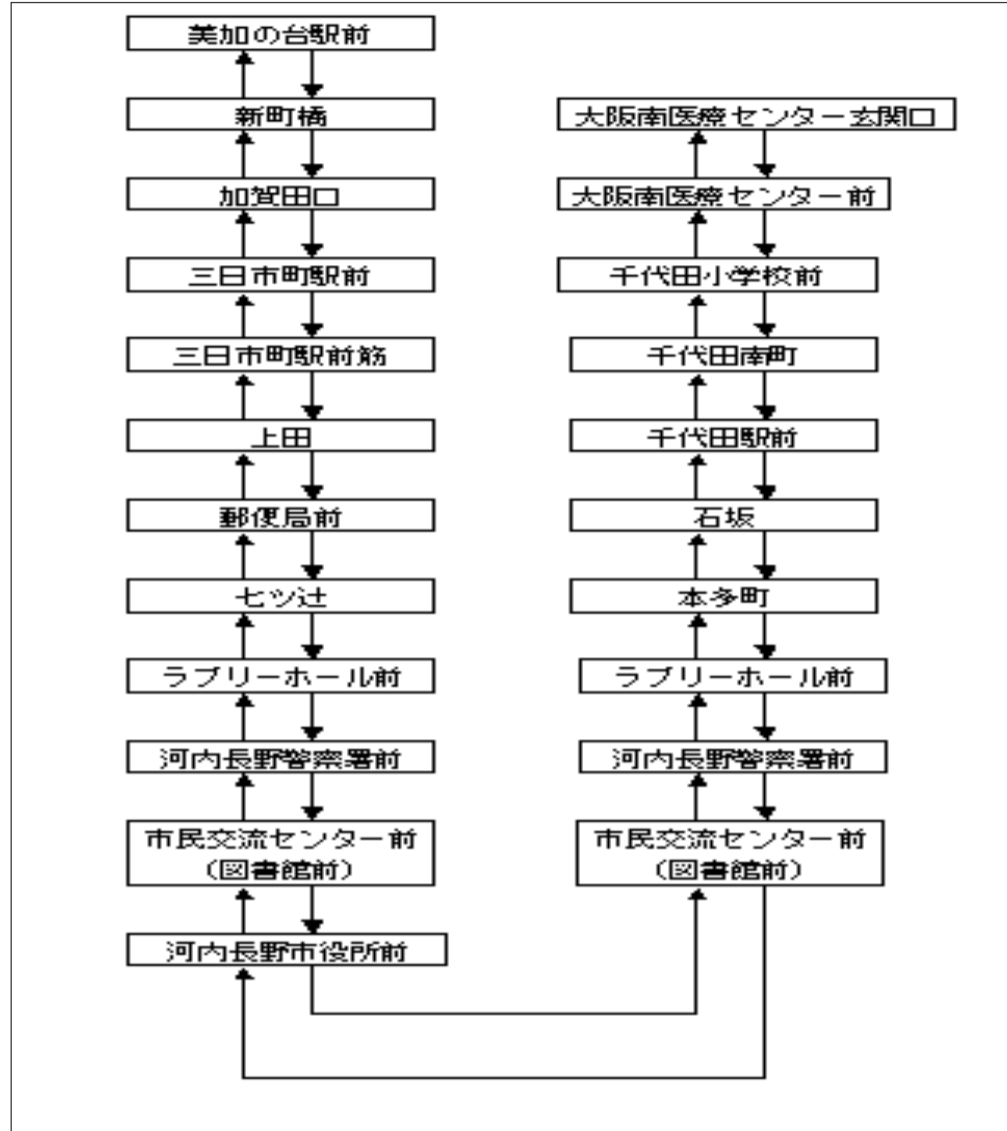
⑫ 解決策と論点 (⑪の課題の解決策と問題点)	最終論点
	<p>【解決策】</p> <p>・市の運行経費負担金の削減方法としては、一つに利用者負担の増(運賃を引き上げる又は試行運行前に戻す)が考えられる。一方、現行のままでは経費削減を目指すためには、時間帯(利用者数)により運行便数を増減することが考えられる。しかし、昼間減便しても、運行時間帯(午前8時36分大阪南医療センター玄関口発から午後4時44分美加の台駅発)の運転手の確保が必要なことから、大幅な経費削減は見込めない。また、増便については、その運行に対する経費が必要であり、その経費を賄うため市負担を上げるか、利用者の運賃の増額が必要となる。(現行と同じ時間帯の中で一部の時間帯でも増便するためには、運行経費のほか少なくとも車両一台追加する必要がある。)</p> <p>・運行ルートの見直しについては、停留所の増設やルートを延伸することは、事業費の増要因であることから、経費に見合う乗客数の確保が必要となる。なお、停留所を減らした場合には、その分だけ別のバス停で乗客の確保が必要となり結果的には、乗客数の増加が経費削減のための条件と考える。そのほか南海バスの停留所と併用しているため利用者の混乱も予測される。なお、バスの利用状況調査や広告収入のあり方については、条件の整理なども含めて今後検討していきたいと考えている。</p> <p>【論点】(「利用者数を増やし、運行経費負担金の削減を図る」という目標を達成するため)</p> <p>・現行の1日往復8便を乗客数の少ない昼間は減らし、朝・夕は増便することで乗客数を増やす検討を行う。</p> <p>・他の公共交通やバス路線との関係から現行の運行ルートについて、ルートや停留所の位置を変更することで、利用者のニーズにあわせた運行を行うことで乗客数の増加につながらないか検討を行う。</p>

様式2号

○モックルコミュニティバスの運行内容の概要【モックルコミュニティバス運行事業】

- ・運行期間 年末年始（6日間）を除く毎日
- ・運行回数 美加の台駅前発（8便）
大阪南医療センター玄関口発（8便）

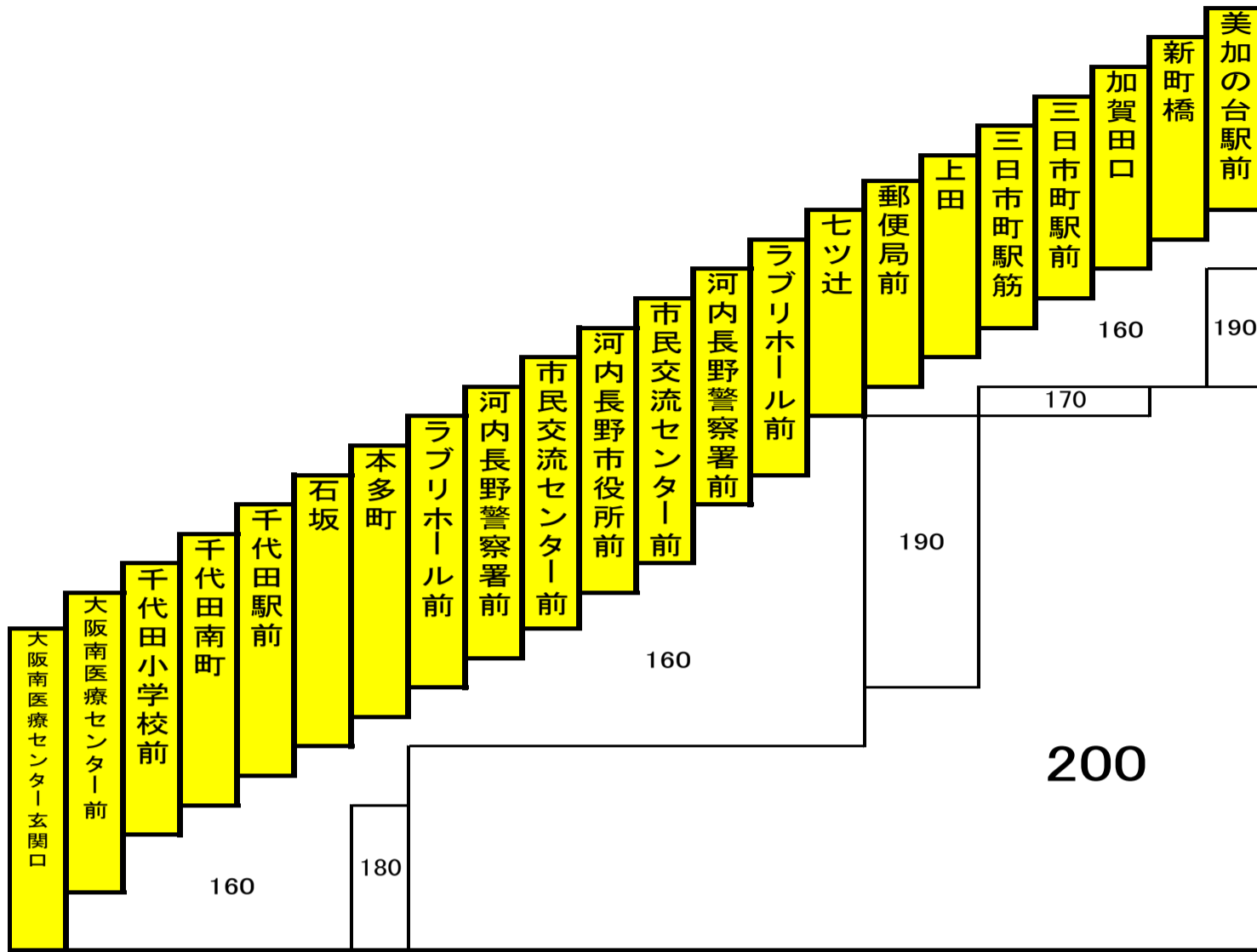
・運行経路及び停留所



・運行時刻

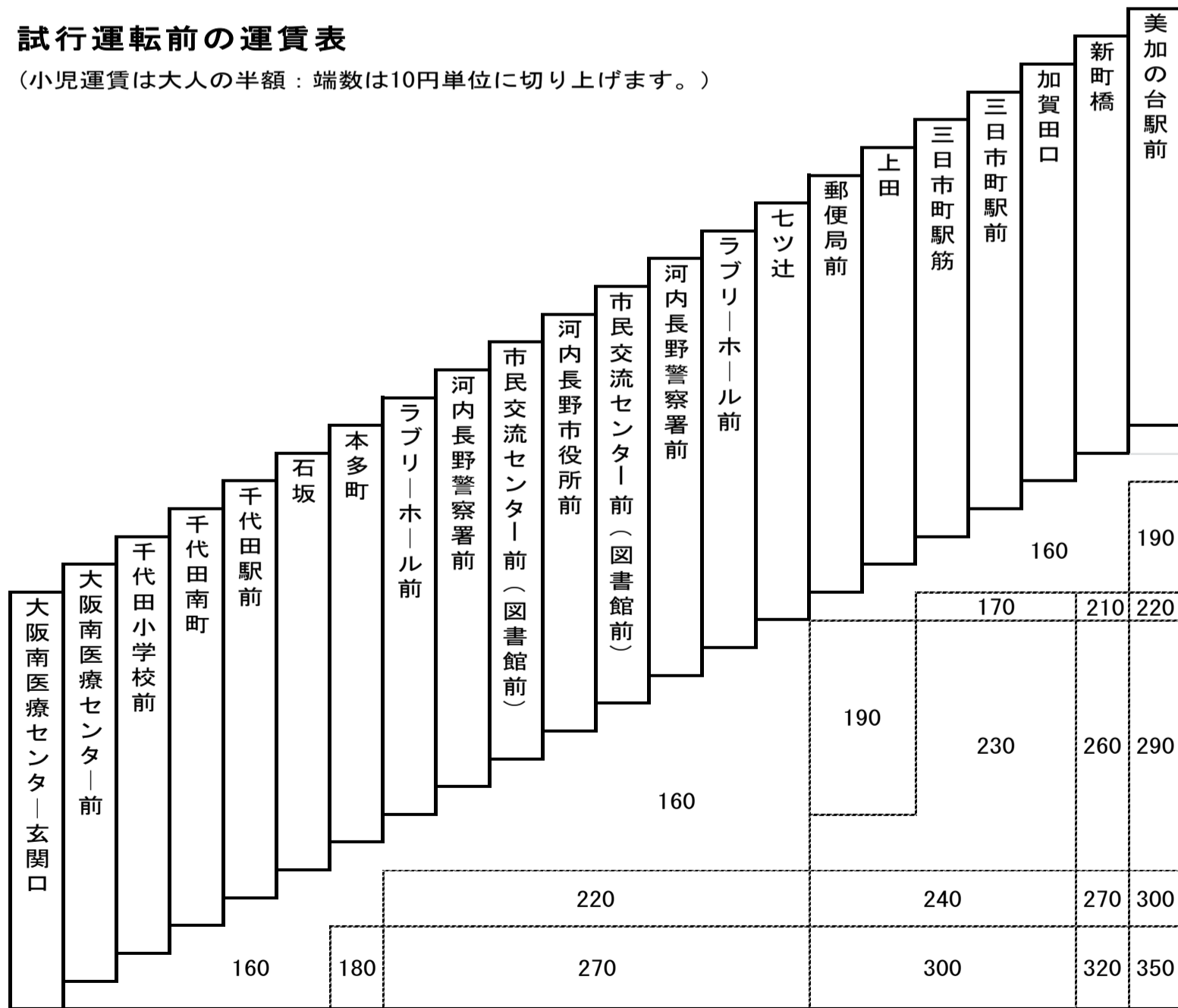
時間	行先	大阪南医療センター玄関口発	美加の台駅前発
		美加の台駅前行き	大阪南医療センター玄関口行き
8		36	44
9		36	44
10		36	44
11		36	44
12			
13		36	44
14		36	44
15		36	44
16		36	44
		8便	8便

現行の運賃表



試行運転前の運賃表

(小児運賃は大人の半額：端数は10円単位に切り上げます。)



(単位:円)

○モックルコミュニティバス利用実績【モックルコミュニティバス運行事業】

※平成14年7月より運行開始

年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間運行日数	263日	360日	359日	359日	359日	360日	359日	359日	359日
車両数(予備車1台含む)	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台	3台
系統キロ	往復9.4km	往復9.4km	往復9.7km	往復9.7km	往復9.7km	往復10.3km	往復10.3km	往復10.3km	往復10.3km
利用者数(人)	29,945	47,326	48,402	46,877	46,885	50,675	52,421	53,728	56,411
利用者数前年度比(%)		158.0%	102.3%	96.8%	100.0%	108.1%	103.4%	102.5%	105.0%
1日当たり利用者数(人)	113.9	131.5	134.5	130.6	130.6	140.8	146.0	149.7	157.1
1便あたり利用者数(人)	7.1	8.2	8.4	8.2	8.2	8.8	9.1	9.4	9.8
運行総経費(千円)	25,774	35,476	35,545	35,684	35,782	31,075	26,955	26,731	26,806
運行収入(千円)	5,644	8,723	9,222	8,819	8,821	9,527	9,862	10,109	8,588
運行負担金(千円)	20,130	26,753	26,323	26,865	26,961	21,548	17,093	16,622	18,218(16,622は市負担、残りの負担額1,596は交通会議負担)
利用一人当たり運行経費(円)	861	750	734	761	763	613	514	498	475
利用一人当たり収入(円)	188	184	191	188	188	188	188	188	152
利用一人当たり市負担(円)	672	565	544	573	575	425	326	309	323

